

**「JMCSA クライミング体験キャンプ in いわて盛岡
supported by 日新火災」開催
～岩手盛岡に本社を置く福祉実験カンパニー「ヘラルボニー」とのコラボレーション～**

2023年11月18日（土）に開催される「JMCSA クライミング体験キャンプ in いわて盛岡 supported by 日新火災」（以下、「体験キャンプ」）にて、「株式会社ヘラルボニー」（以下、ヘラルボニー）のアートが会場を彩ります。ヘラルボニーは、開催地の岩手県盛岡市に本社を置き、日本、世界へと活動を広げています。「異彩を、放て。」をミッションに掲げ、福祉を起点に新たな文化の創出を目指す福祉実験カンパニーです。当日は、岩手県を拠点に活動した作家、八重樫季良（やえがし・きよし）氏のアートが会場を彩ります。

本コラボレーションは、障害のある作家のアートを軸に様々な事業を展開し、「障害」のイメージ変容を目指すヘラルボニーの理念に日新火災が共感して実施に至りました。

日新火災は、ヘラルボニーと共に、子供たちの健やかで豊かな未来につながる挑戦を応援します。

【コラボ内容】

コラボ① アートを活かした体験キャンプ会場の空間装飾

コラボ② 空間装飾をアップサイクルしたサステナブルなノベルティプレゼント
(体験キャンプ参加者に後日お贈りします)

【株式会社ヘラルボニーについて】

ヘラルボニーは「異彩を、放て。」をミッションに掲げる、福祉実験カンパニーです。国内外の主に知的な障害のある作家と契約を結び、2,000点を超える高解像度アートデータの著作権管理を軸とするライセンスビジネスをはじめ、作品をファッションやインテリアなどのプロダクトに落とし込む、アトライフスタイルブランド「HERALBONY」の運営など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開しています。これらの社会実装を通じて「障害」のイメージ変容と、福祉を起点とした新たな文化の創造を目指します。

社名である「ヘラルボニー」は、知的障害のある両代表の兄・松田翔太氏が7歳の頃に自由帳に記した謎の言葉です。「一見意味がないと思われるものを世のなかに新しい価値として創出したい」という意味を込めています。

【作家について】

八重樫季良（やえがし・きよし）氏

1956年 岩手県北上市生まれ（2020年没）。るんびにい美術館（岩手県花巻市）所属。一見抽象的な幾何学パターンを描いたように見える絵だが、それが独自のアレンジによって描かれた建築物だと知ったら多くの人が驚くだろう。この表現様式を八重樫は子どもの頃、誰に習うことなく独創によって生み出し、以来半世紀余りにわたってこのただ一つのスタイルで創作し続けて来た。その作品数はおそらく数千点に及ぶと思われる。



（無題）（家）

会社名：株式会社ヘラルボニー / HERALBONY Co., Ltd.

所在地：岩手県盛岡市開運橋通 2-38

代表者：代表取締役社長 松田 崇弥、代表取締役副社長 松田 文登

コーポレートサイト：<https://www.heralbony.jp>

ブランドサイト：<https://store.heralbony.jp/>

以上